

**前走** オーブン・重賞  
青竜S組は「1 4 3 20」。青竜S勝ち馬に限れば、「1 2 2 2」。(①着ハセドンは上がり234秒3の切れ味で大外一氣。出遅れも含めて粗削りだが、

素質かなり。(3)(4)着バトルク  
ライ・ヴァルツア・レシャルも  
0秒2差なら闇内。(5)着ペイ  
シャエスは縊ぶれの先行勢で  
はもつとも粘つた。  
リメイクは危なげない内容で

3連勝。重賞級と思えるが、過去6戦はすべて千四。千六への延長が課題か。

ドバイ帰りのコンバストヨンとセキフウは実績上位。特に国内〔3200〕でヒヤシン

スS勝ちの前者は有力。  
**前走** || **1勝クラス**

今年9月

好走率アップ。  
は0秒7差で圧勝の  
ウ。時計の出る馬場  
、勝ちタイム1分34  
なり速い。春の東京34  
の記録。

年サントリアーナ  
年マイショウパワーズ  
年バイラ  
年ヴィニアアイス  
年サトノラファール  
年ルーチェドーロ

258921

占馬〇  
週前が  
京11R

の動きを追走して併入の  
群の動き。好勝負に。  
イシャエス  
い展開のなか上々  
強化でも侮れない。

「初めてのダート」〔3頭〕  
ダート未経験で出走した馬は01年以降で「11121」。優勝馬は19年「ワイドファラオ（父ヘニーヒューアズ）」。  
「インダストリア」は父リオンドイーズ。ティーガーデンは父ドゥラメンテ。どちらも産駒デビューが20年で、ダート出走が（最近）増加傾向という共通点。今年JRAでの勝率は芝よりダートのほうが高い。  
また、ティーガーデンは近親にダート活躍馬が多い。  
「タイセイデイバイン」は父ルーラーシップ。産駒は芝優勢の成績だが、ユニコーンSに出走した産駒2頭は⑤③着と好走（⑩⑥人気）。

1	-	[2]	70.6	[3]	404	[4]	15.3
2	12.1	[3]	72.2	[4]	30.6	[5]	45.5
3	59.5	[4]	5.4	[5]	139	[6]	7.4
4	5.0	[5]	92.7	[6]	66.7	[7]	11.9
5	67.8	[6]	20.1	[7]	92.7	[8]	26.4
6	16.1	[7]	23.9	[8]	129	[5]	
7	26.3	[8]	62.9	[6]	103	[6]	368
8	51.8	[7]		[7]	103	[6]	119
9	8.3	[7]	224	[7]	27.6	[7]	134
10	404	[8]	76.8	[8]	46.0	[8]	159
①	4.0	[6]	5.0	[1]	21.2		
②	23.8	[7]	3.3	[2]	51.1		
③	6.7	[8]	53.5	[3]	22.4		
④	64.8	[9]	97.7	[4]	59.3		
⑤	30.5	[10]	11.5	[5]	35.1		

コース適性	3	11	6
最近の成績	1	7	3
攻め馬状態	7	12	1
	11	11	6
	13	6	7
	1		1

**本紙の見解**

ジユタロウの2勝はともに楽勝。今回と同じ舞台の前走は、開催一番時計の1分34秒8。それも、自身「58秒2—36秒6」の厳しいラップを踏んでのもの。イレ込み、もまた弱さ等死角はあるが、能力一番とみて中心視。鞍上は弱点を熟知しているし、ここは幸い強気の逃げ・先行策が可能な相手。実績一番のコンバストヨンが相手。

**能力一番はジユタロウ**

**馬単**

6	↔	3
6	↔	1
6	↔	7
3	↔	1
6	↔	10
6	↔	15
6	↔	2

**3連単**  
フォーメーション

1着 6  
2着 1 2 3  
7 10 15  
3着 1 2 3  
7 10 15  
(30点)

**上位抵抗**

## 本紙の見解

能力一番はジユタロウ



